

決算特別委員会会議録

開会時間 午前 11時00分

閉会時間 午後 2時01分

日時 平成30年10月26日(金)

場所 委員会室棟大会議室

委員出席者 委員長 渡辺 英機
副委員長 佐藤 茂樹
委員 浅川 力三 石井 脩徳 白壁 賢一 大柴 邦彦
塩澤 浩 永井 学 渡辺 淳也 乙黒 泰樹
早川 浩 水岸 富美男 清水 喜美男 古屋 雅夫
小越 智子

委員欠席者 なし

説明のため出席した者

警察本部長 原 幸太郎
警務部長 鈴木 康修 刑事部長 小林 仁志 交通部長 中山 良彦
警備部長 市川 和彦 生活安全部長 鶴田 孝一 首席監察官 清水 順治
総務室長 功刀 康友 警務部参事官 岩柳 治人
生活安全部参事官 雨宮 雄二 刑事部参事官 高村 晃
交通部参事官 窪田 豊 交通部参事 若月 誠 警備部参事官 岩柳 幸夫
会計課長 大森 伸 教養課長 秋山 敦 厚生課長 吉田 一成
情報管理課長 清水 八志 地域課長 和田 弘記
少年・女性安全対策課長 五味 雄二 生活安全捜査課長 大森 勇人
通信指令課長 藤田 貴仁 捜査第一課長 志田 浩 捜査第二課長 藤井 清
組織犯罪対策課長 姫野 賢司 交通規制課長 川口 守弘
運転免許課長 廣川 勉 警備第二課長 相模 稔

産業労働部長 佐野 宏 産業労働部理事 中澤 宏樹
産業労働部次長 渡邊 和彦 産業労働部次長 藤巻 美文
産業政策課長 内藤 裕利 商業振興金融課長 柏木 隆伸
新事業・経営革新支援課長 丹沢 竜 地域産業振興課長 古屋 万恵
企業立地・支援課長 一瀬 富房 労政雇用課長 小高 和也
産業人材育成課長 細田 孝

教育長 市川 満 教育次長 小島 良一
教育監 奥田 正治 教育監 青柳 達也 教育委員会事務局理事 斉木 邦彦
教育委員会事務局次長(総務課長事務取扱) 塩野 開 学力向上対策監 佐野 修
福利給与課長 諏訪 桂一
学校施設課長 後藤 宏 義務教育課長 嶋崎 修 高校教育課長 廣瀬 浩次
高校改革・特別支援教育課長 染谷 光一 社会教育課長 保坂 哲也
スポーツ健康課長 前島 斉 学術文化財課長 百瀬 友輝

人事委員会事務局長 清水 正 人事委員会事務局次長 三井 勉

議会事務局次長 (総務課長事務取扱) 高野 雄司

出納局次長 (会計課長事務取扱) 平塚 幸美

議題 認第 1 号 平成 29 年度山梨県一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定の件
認第 2 号 平成 29 年度山梨県公営企業会計決算認定の件

審査の概要 午前 11 時から午前 11 時 28 分まで警察本部関係、午後 1 時から午後 2 時 01 分まで産業労働部・教育委員会・人事委員会事務局・議会事務局関係の部局審査を行った。

質 疑 警察本部関係

(装備費について)

小越委員 少し詳しく教えてください。決算説明資料、警の 3 ページの確認なんですけど、航空機維持費が 4 億 9,000 万円、これ、昨年度なかったんですが、新しく航空機をかえたということでふえたんですって。確認ですけど。

大森会計課長 航空機維持費 4 億 9,436 万 6,664 円の主なものにつきましては、ヘリコプター 5 年点検料、これが 4 億 6,528 万 6,680 円となっております。これが主な内容でございます。

(警察施設費について)

小越委員 その下の建設施設費なんですけど、一昨年平成 28 年度に比べて 6 億 3,000 万円、約 2 億円近くふえているんですけども、それは駐在所建設と警察本部庁舎整備費がふえているからだと思うんですけど、そこをもう少し詳しく説明してください。

大森会計課長 警察施設費 6 億 3,583 万 3,392 円の内訳につきましては、駐在所等建設費に 1 億 134 万 4,970 円、また、警察本部庁舎等整備費に 3 億 8,256 万 9,866 円を充てております。警察署建設事業費、これが主なものになります。

小越委員 新しく駐在所を建てかえたのが入っていると理解しておきます。いいですね、それでね。

それと、3 番目の待機宿舎等改修費 5,680 万円なんですけど、昨年はこの待機宿舎を何棟、どんな改修をしたのか、幾らかかったのか教えてください。

大森会計課長 昨年度、平成 29 年度に改修をいたしました待機宿舎につきましては、大月警察署の下川渡待機宿舎 1 棟 12 戸になります。整備費につきましては、5,459 万 1,000 円となっております。

小越委員 県有施設の管理計画によると、警察の施設の老朽化対策が大変だということをおっしゃっておりまして、とりわけ待機宿舎は約 6 割が築後 30 年以上経過し、10 年後に約 8 割まで増加するというので、この待機宿舎のところは昨年 1 棟

ただだということ、今後どのぐらいになるのかなと心配になっておりますが、そこはまた次の機会にしたいと思います。

(交通安全対策費について)

警察の 4 ページの交通安全対策費ですけど、昨年度、1 億 4 億 1,600 万円出ておりますが、平成 28 年度の 1 億 1,500 万円に比べまして約 2 億ふえているんですけど、どうして 2 億ふえたのか原因をお示してください。

大森会計課長 交通安全対策費につきましては、信号機や道路標識、道路標示等の交通安全施設の整備や維持、管理、交通事故分析調査、交通事故捜査等に要する経費など、県内の交通の安全と円滑を図るための予算でございます。この増額の主な理由につきましては、平成 28 年度と比べまして交通安全施設整備事業費における国庫補助事業が約 1 億 4,000 万円増加、また、交通事故分析調査費におきます交通情報総合管理システムリース料が約 3,025 万円増加、違法駐車対策費における放置駐車違反システムリース料が約 2,657 万円増加したことなどであり

小越委員 国庫補助の 1 億 4,000 万円というのは具体的にどのようなものか、どこかの場所の信号機がふえたとかってというのはわかりますか。

川口交通規制課長 小越委員の御質問にお答えいたします。平成 29 年度は老朽化した信号制御器の更新、信号機の感応化や視覚障害者付加装置の整備、あるいは右折矢印信号を設置する多現示化など高度化更新や、西日対策など、信号機の視認性を向上させるための LED 化改良などといった事業に重点を置いて事業を計画しておりましたので、これらの事業を推進した結果、増額となったものでございます。

質 疑 産業労働部・教育委員会・人事委員会事務局・議会事務局関係

(不納欠損について)

小越委員 産業労働部の産の 3 ページですけど、不納欠損で今回、1 億 20 万円、それから雑入も含めるともっと多いんですかね。昨年、これ、産業集積のところで不納欠損で落としたりして今、説明があったんですけど、昨年までは不納欠損でなく収入未済でやっていたと思うんですけど、どうして収入未済ではなく不納欠損で処理したのでしょうか。

一瀬企業立地・支援課長 この不納欠損の金額につきましては、平成 20 年度に 1 社に対しまして産業集積助成金 2 億 3,300 万円を交付しまして、平成 22 年に同社が法人税違反で起訴されたことに伴いまして、助成金の返還命令を行いました。その後、平成 27 年 3 月まで助成金の返還は続いていましたが、同年 5 月に破産手続が開始されまして、昨年度、平成 29 年に破産手続が終結いたしました。その終結するまでの数字が去年は収入未済に載っていたわけですけども、破産手続きの終結により会社が消滅しまして、同社に対します債権も消滅しましたことから、不納欠損処分を行ったものでございます。

(やまなしブランド推進事業費について)

小越委員 産の 5 ページの商工総務費のブランド推進事業費ですけど、平成 28 年度はたしか 9,051 万円あったんですが、平成 29 年度は 3,800 万円ということで、半分近くに減っているんです。その中でも、ジュエリー産業活性化、1,400

万円が 4 3 0 万円になり、ワイン産業が 3,6 0 0 万円が 8 7 6 万円になっているんですけど、ブランド推進事業費のところは何か事業が削減されたんでしょうか。

古屋地域産業振興課長 申しわけありません。一昨年度、平成 2 8 年度との比較につきまして少々お時間をいただきたいと思います。

小越委員 中身が何か、事業が削られているのかどうかとか、参加者が少ないのか、ちょっとお願いしたいと思います。

(商業振興事業費について)

それから、産の 6 ページ、主要成果説明書の 5 8 ページにあります買援隊なんですけど、予算 6 0 0 万円に対して 1 0 万円という支出なんですよ、買援隊。昨年、2 8 年度も 6 0 0 万円計上して、2 5 4 万円支出されております。2 9 年度も 6 0 0 万円計上しているけど、1 0 万円しかないっていうのは、買援隊を援助している、受ける市町村が少なかったのか。ちょっと少な過ぎるんですけど、どういうことでしょうか。

柏木商業振興金融課長 ただいまの御質問ですけれども、地域の商店街が廃業する中で、買い物弱者対策は大変重要なことであると考えております。そうした中で、予算を組む段階では市町村から要望を聞きまして組んではおるのですが、実際、事業実施段階になって、事業主体が事業の採算性とか継続性等の関係で市町村が予算化できないというようなことで、平成 2 9 年度 1 件の実施となったところでございます。

私どもが市町村を回りまして利用を呼びかけておりますが、なかなか実施主体の事情というところもございまして、市町村が予算化できなかったということです。

渡辺委員長 執行部に申し上げます。ただいま小越委員からの要請がありました資料につきまして、資料作成はできますか、古屋課長。いつごろまでにできますか。

古屋地域産業振興課長 速やかに調べまして御報告いたします。

渡辺委員長 それでは、至急作成の上、提出をお願いしたいと思います。

古屋地域産業振興課長 はい、わかりました。

(教育指導費について)

小越委員 教育委員会の教の 5 ページ、教育指導費です。これもなんですけど、平成 2 8 年度が 8 億 1,4 0 0 万円に対して 6 億 7,6 0 0 万円ということで少なくなっているんです。例えば、学力向上の取り組みというところで、主要成果説明書のところにもあるんですけど、平成 2 8 年度は予算が 3,6 0 0 万円に対して決算が 3,2 0 0 万円、平成 2 9 年は予算をふやして 4,3 0 0 万円の予算を取ったにもかかわらず、決算上は 2,8 0 0 万円ということで、平成 2 8 年度よりも 2 9 年度のほうが予算をたくさん取ったにもかかわらず、決算額は少ないんですけど、見た限りだと事業の内容はそんなに変わっていないと思うんですけど。件数とか人数とか。何か理由があるのでしょうか。

嶋崎義務教育課長 お答えいたします。学力向上につきましては、地域の市町村による学習支援、

あるいは若手教員等の事業を進めておりますが、この中で地域による学習支援が、市町村の主体性による取り組みということで既に市町村単位で広まっております。このため、事業を実施する市町村数が予想よりも少なかったために減額となっているところがあります。

(施設管理費について)

小越委員

教の6ページの全日制高等学校管理費、施設管理費ですけど、一昨年は3億2,000万円ぐらいだったのですが、今回は1億8,000万円ということで、かなり少なくなっているんですけど、これはなぜなんですか。学校が減ったのですか。

後藤学校施設課長 ただいまの質問、ちょっとお時間をいただきたいと思います。

(不用額について)

小越委員

教の12ページの不用額なんですけど、体育振興費の競技スポーツ振興費の執行残1億5,700万円ということで、1億5,000万円も残っているのは何か競技スポーツの大会の関係で計画がなくなったのか、なぜでしょうか。

前島スポーツ健康課長 この不用額につきましては、このうち1億2,238万4,000円につきましては、平成30年1月28日から2月1日に本県で開催されました冬季国体に伴いまして、小瀬スポーツ公園アリーナの改修工事を行いました、その差金でございます。

小越委員

はい、わかりました。いいです。

白壁委員

ちょっと、委員長、意見。

今の質問は、不用額だとかそういったものはいいんですけど、ほかの、例えば前年度に比べて少ないとかっていうのは予算のときに言うことであって、これ、決算で、どういう効果があったとか、不用額がどうだとか、収納率がどうだとかっていうことを聞くもんで、ああいうものについては決算委員会になじまない質問なので、ぜひその辺は指導していただきたい。

それと、もう一つ。資料提出についてはぜひ我々にお諮りください。「いかがでしょうか。資料提出の件については委員会として資料の提出を求めることに御異議ありませんか」「異議なし」で、そういうことで委員会として資料提出を求めますということを明確に言ってください。個人のものには調査の対象になりませんし、そういったものじゃないとおかしい話になります。横の事務局、ちゃんとしっかりして。もう終わったんであれですけど。

もうさっきのでいいんじゃない。異議なしだから、誰も言わなかったからいいんですけど、次からそういうふうにしてくださいということをお願いします。

(やまなしブランド推進事業費について)

古屋地域産業振興課長 平成28年度と比較しまして、やまなしブランド推進事業費は予算額の減少に伴い、決算額が減少しております。ジュエリー産業活性化につきましては、多言語対応のPR映像を作成いたしました、昨年度はその実施がございませんでした。また、ワイン産業活性化につきましても、雑誌の広告等、トップセールス等の数字の減がございました。また、織物産業につきましても、トレンドブックというものを平成28年度は作成いたしましたけれども、平成29年度は作成がございませんでした。その分の減になります。

小越委員 はい、わかりました。ありがとうございます。

(施設管理費について)

後藤学校施設課長 先ほどの小越委員の御質問にお答えさせていただきます。全日制高等学校管理費で昨年度が施設管理費 1 億 8,500 万円、これは平成 28 年度の決算に比べ少ないのではないかというご指摘でございました。

平成 28 年度の予算では、臨時の県立学校の天井等の落下防止対策工事、これが 1 億 3,000 万円ほど臨時でついておりまして、この分が減額となっております。

小越委員 はい、わかりました。

その他 ・ 人事委員会事務局及び議会事務局については、経常的経費のみであるため、執行部からの概要説明は省略する扱いとした。

以 上

決算特別委員長 渡辺 英機